

要請番号 (JL24823A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ニカラグア	H107 助産師	20～45 歳のみ	グループ 型	交替 3代目	2年	・ 2023/4 ・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

保健センター“ペドロ・ナルバエス・シスネロス”

3) 任地 (カラソ県ヒノテペ市) JICA事務所の所在地 (マナグア市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1980年に保健省管轄の保健センターとして設置され、ヒノテペ市を含む周辺地区の住民に無料で医療サービスを提供する機関である。一般外来、検査、カウンセリング室、理学療法室、歯科、薬局などの機能を備え、下部組織となる8か所の保健ポストを管轄している。センターの隣には、同じく保健省管轄で、市が運営するカサ・マテルナ(お産を待つ家)が併設されている。年間予算は約80万米ドル。過去に助産師、感染症・エイズ対策(以下、前任者)の隊員が活動した。米国ボランティアを受け入れた経験もある。また、2021年から2025年にかけてJICA技術協力プロジェクト「家族・地域保健モデル強化を通じたプライマリーヘルスケアの改善プロジェクト(MOSAFC)」が実施されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同保健センターは、医療サービスの提供に加え、医学生や看護学生への指導、学校での保健教育活動、地域の看護・保健ボランティアやコミュニティリーダーの育成等を行っている。また、カサ・マテルナ(お産を待つ家)には、農村地域からお産を控えた妊婦が毎月約30名入居する。前任者は、配属先同僚とともに学校やコミュニティを訪問し、保健医療に関する啓発活動を行うと共に、保健センターとカサ・マテルナの連携を促進し、妊婦が周産期に必要な知識を身に付けられるよう、講習会の実施、教材の改善等を行った。配属先は今後、より重点的に地域の若年妊娠や妊産婦死亡の減少、性感染症教育・予防、看護師やコミュニティリーダーの育成に取り組む必要があるとし、本要請に至った。本要請は、グループ型派遣の一環であり、他の助産師隊員との連携を通じた母子保健サービスの強化が期待される。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚とともに以下の活動を行う。

- 思春期リプロダクティブヘルスに関する講習会の実施(妊娠・出産、避妊法、HIV/エイズ対策、予防、家族計画等)
- 地域の産婆、看護・保健ボランティア、地域ボランティア、コミュニティリーダーに対する講習会の実施(母子保健、妊婦のケア、感染症対策等)
- カサ・マテルナ(お産を待つ家)の利用者増加のための広報活動
- 妊婦を対象とした各種教室(手工芸等)の開催
- 講習会で使用する教材の作成や改善案の提案

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務用品(机、椅子、棚)、文房具(紙、マーカー、フォルダー等)、プロジェクター、妊娠・授乳に関する教材等

4) 配属先同僚及び活動対象者

[配属先同僚]

所長:医師・女性・50代、看護師:男性・50代、看護教員:女性・50代

センター看護スタッフ:看護師長1名、看護師15名

[活動対象者]

コミュニティリーダー22名、医学生17名(10週毎交替)、地域住民、学生(14～16歳)、妊婦(約30名/月)等

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(助産師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：業務遂行上必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(20～32℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

技プロ「家庭・地域保健モデル強化を通じたプライマリーヘルスケアの改善プロジェクト」(2021年8月-2025年7月)実施地域。配属先内外の複数の関係者との活動が想定されるため、協調性と積極性が求められる。住居はホームステイの可能性あり。